

グルタミン酸誘導体ナールスゲン含有マウスジェルの臨床的有用性の検証**Clinical verification of mouse gel derived from derivative GGsTop (Nahlsngen)**

○永久景那¹, 今井美季子¹, 貴島真佐子^{1,2}, 中川麻衣子³, 佐々木裕之³, 糸田昌隆¹

○Keina Nagahisa¹, Mikiko Imai¹, Masako Kishima^{1,2}, Maiko Nakagawa³, Hiroyuki Sasaki³,
Masataka Itoda¹

¹大阪歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科

²社会医療法人 若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院

³株式会社ニッシン 開発本部 開発グループ 材料開発チーム

¹Department of Oral Rehabilitation Osaka Dental University Hospital

²Wakakoukai Health Care Corporation Wakakusa-Tatsuma Rehabilitation Hospital

³R&D Division, Dental Materials R&D Section, Nissin Dental Products INC.

【目的】 口腔保湿剤の使用は、口腔乾燥の改善のみならず、粘膜保護により口腔衛生状態が改善され、粘膜炎症の程度や疼痛の軽減も期待される。本研究では、グルタミン酸誘導体ナールスゲン含有マウスジェル（以下、NS ジェル）の保湿効果を現状把握し、口腔粘膜の炎症や創傷治癒への影響、および口腔乾燥や嚥下機能の改善との関連について検証する。

【対象および方法】 2019 年 9 月～2022 年 6 月末迄に当科来院した満 20 歳以上の患者のうち、口腔粘膜の炎症や創傷、組織損傷が認められた者、または、口腔乾燥や嚥下困難感を認める者を対象とした。対象者において、NS ジェル（keora オーラルモイスチャージェル®）を一定期間使用した口腔内状態を経時的に観察評価した。評価時期は、NS ジェル使用前と使用後 7～14 日 or 初期症状が改善された時点とした。使用方法は、1 日 4 回（朝・昼・夕食後と就寝前）、3～5 push/回（0.5～1.0g）、患部一層塗布とした。評価項目は、①口腔粘膜の炎症症状：CTCAE ver3.0（Grade 1～4）、②口腔乾燥状態：ムーカス®27.0 より「高 or 低」、③口腔衛生状態：良好 or 不良、④嚥下機能（RSST 3 回/30 秒）：可 or 不可とした。

【結果】 対象者数 17 名（男 4、女 13）、のべ数 25 症例のうち、NS ジェル使用後 7～14 日の間に、①11 名 14 症例、②8 名 12 症例、③5 名 7 症例、④4 名 5 症例で改善傾向が認められた。粘膜炎 Grade 3→2、3→1、2→1、1→異常なしと改善したのは、各々 3、3、2、6 症例であり、重粒子線治療中や施術直後の NS ジェル使用で変化が認められやすかった。使用感に対する患者－術者主観は、効果あり 13 名、効果なし 4 名であった。

【考察】 NS ジェル使用後 7～14 日以内に粘膜炎の改善が認められたことから、症状発現より早期介入することが望ましいと考える。NS ジェルの使用は、保湿効果に伴う、粘膜炎や嚥下痛の緩和と、口腔セルフケアの容易さに寄与し、全体的な口腔粘膜炎症の治癒促進効果も発揮されたと推察する。